

地 理 編

- 地-問1. ③ P 1 小松市は石川県の西南部に位置する。
- 地-問2. ② P 1 小松市の人口は約10万7千人。
- 地-問3. ③ P 1 昭和16年3月20日に制定された。
- 地-問4. ④ P 1 花山法皇が小松を植えたという伝承があり、その由来から選ばれた。
- 地-問5. ① P 1 小松の近世の礎を築いた前田利常の家紋「劍梅鉢」から「梅」とした。
- 地-問6. ⑤ P 1 市制40周年を記念して、昭和55(1980)年に制定した。
- 地-問7. ③ P 2 昭和16年3月20日に制定された。作詞は蕪城 正芳、作曲は今井 松雄。
- 地-問8. ② P 2 1番は「生産」、2番は「観光」、3番は「躍動」。
- 地-問9. ① P 2 小松市のキャッチコピー「いよっ小松～勸進帳のふるさと～」をもとに誕生した。
- 地-問10. ② P 2 小松市制70周年(平成22(2010)年)を記念して、市内のデザイナーからデザインを募集して決定した。愛称は市民から募集して決定した。
- 地-問11. ③ P 3 スザノ市(ブラジル)、ビルボード市(ベルギー)、ゲイツヘッド市(イギリス)、山東省済寧市(中華人民共和国)の4都市。
- 地-問12. ② P 4 昌寧郡(大韓民国・慶尚南道)、彰化市(台湾・彰化縣)、アンガルスク市(ロシア・イルクーツク州)の3都市。
- 地-問13. ① P 6 昭和46(1971)年に一級河川に指定された。源を白山山系大日連峰の鈴ヶ岳(1,174m)に発し、安宅町にて日本海に注ぐ。
- 地-問14. ③ P 6 幹川流路延長42.0km、流域面積271km²である。
- 地-問15. ② P 6 小松市、加賀市に点在する三つの潟湖(今江潟、木場潟、柴山潟)の総称である。

- 地-問16. ⑤ P 6 県内で唯一干拓されずに残された水郷景観の面影が残る湖として知られている。
- 地-問17. ④ P 7 日本海を回遊している寒ブリが、初冬の雷と合わせて獲れ始めることから、漁師が網を「起こす」というのと、寝ているブリを「起こす」という意味をかけて「ブリ起こし」といわれている。
- 地-問18. ② P 7 馬の鞍をおいたような形。鞍掛山の標高478mである。
- 地-問19. ① P7・8 大日山の標高は1,368m。南加賀に位置して眺望が良く、沢登りや尾根歩き、山スキーなどいろいろなルートを楽しむことができる。
- 地-問20. ③ P 11 平成29(2017)年9月30日に、小松天満宮の浮島化工事が完成した。

歴 史 編

- 歴問1. ② P 13 昭和15(1940)年12月1日、2町6か村(小松町・安宅町・牧村・板津村・白江村・苗代村・御幸村・栗津村)が合併して小松市が誕生した。全国176番目に市制を敷いた。
- 歴問2. ③ P 13 小松町・安宅町・牧村・板津村・白江村・苗代村・御幸村・栗津村の2町6か村。那谷村は昭和30(1955)年4月1日に合併した。
- 歴問3. ④ P 17 平成16(2004)年4月にオープンした。
- 歴問4. ① P 20 八里山向山遺跡群は県内でもまれにみる豊富な内容を誇る遺跡群である。
- 歴問5. ③ P 21 弥生時代中期の「小松式土器」の標識遺跡ともなっており、学術的にも貴重な遺跡である。
- 歴問6. ② P 24 三階となる上の層の内部には座敷が設けられ、その上の大屋根は寄棟よせむねの柿葺こけらき。一・二階の下層は壁面外回りを葦あし貫すで囲んだ日本で唯一の数寄屋造りの建物。
- 歴問7. ④ P 24 巨大な湖沼に浮かぶ12の島を石橋、木橋で連結した全国でも珍しい浮城うきしろ。俗に「小松の浮城」といわれていた。
- 歴問8. ① P 26 小田原征伐や朝鮮出兵などの功により、慶長3(1598)年、加賀国松任4万石から8万石加増され、加賀国小松12万石の城主となった。
- 歴問9. ⑤ P 28 20万石を自らの養老領として小松に隠居した(利常46歳)。
- 歴問10. ① P 28 鼻毛を伸ばした殿様として有名。幕府の改易攻撃をかかわすために、鼻毛を伸ばして、「バカ殿」を演じ続けたといわれている。
- 歴問11. ② P 28 外様最大の領土(100万石)を治めていたため。大坂城や江戸城の修築工事などを請け負って、幕府の改易攻撃をかわした。
- 歴問12. ③ P 30 歌舞伎「勧進帳」は、源頼朝の怒りを買った源義経一行が、北陸を通して奥州へ逃げる際の加賀国の「安宅の関」でのエピソードをもとになっている。勧進帳とは、寺院神社建立の資金集めにその趣意をしたためたもの。

- 歴問13. ① P 30 山伏姿になって、奥州(平泉)の藤原氏(藤原秀衡)を頼って落ち延びた。
- 歴問14. ② P 30 弁慶がおとりになったとは、どこにも書いていない。
- 歴問15. ③ P 30 兄の源頼朝の許可を得ることなく官位を受けたことや、平氏との戦いにおける独断専行によって怒りを買い、追われた。
- 歴問16. ② P 31 平成11(1999)年5月15日に初めて開催された。
- 歴問17. ④ P 33 平清盛に寵愛を受けた。
- 歴問18. ③ P 34 弟子の曾良を伴いながらの紀行。元禄7(1694)年に清書本が完成。
- 歴問19. ① P 35 小松天満宮の境内に「あかあかと・・・」の芭蕉の句碑がある。
- 歴問20. ③ P 36 那谷寺で「石山の石より・・・」の芭蕉が詠んだとされている。
- 歴問21. ① P 37 「おくのほそ道」紀行中の芭蕉と出会い、入門。加賀蕉風の中心人物。
- 歴問22. ② P 38 別当には北野天満宮から、当時の連歌の第一人者であり、都で上皇や公卿の連歌の指導も行っていた梅林院能順を招いた。
- 歴問23. ⑤ P 39 串茶屋町の東にある共同墓地内にある。
- 歴問24. ③ P 40-41 天和2(1682)年頃は金山として栄えていたが、その後廃山。明治10年代から銅山として本格的な採掘がはじまり、約80年間、日本有数の銅山として繁栄した。
- 歴問25. ④ P 42 苟完社(加賀藩の家老であった横山家が経営する金融会社)は尾小屋鉱山を経営。
- 歴問26. ② P 45 大正9(1920)年5月10日に開業した。
- 歴問27. ④ P 45 昭和52(1977)年3月19日に廃線となった。
- 歴問28. ③ P 46 昭和4(1929)年5月15日に開業した。
- 歴問29. ⑤ P 46 昭和61(1986)年5月31日に廃線となった。
- 歴問30. ④ P 47 和田傳四郎<昭和22(1947)年、初の公選市長(歴代では2代市長)になる。

産 業 編

- 産-問1. ⑤ P 50 寛永4(1627)年に農民救済のために「塩手米制度」をつくり、能登一帯に奨励した。
- 産-問2. ② P 51 板屋 兵四郎(小松の町人、生年不詳-1653年)とは、江戸時代の加賀藩の土木技師。測量技術に優れ、金沢城の堀や兼六園に水を引く為の辰巳用水を開いた。
- 産-問3. ① P 52 金平金山は安永元(1772)年に十村役(加賀藩が農村支配のために任命した村方の最高役人の家柄)、7代・石黒源次によって採掘をされた。
- 産-問4. ③ P 53 小松で廻船業、金融業などを営んできた米谷家7代。加能合同銀行頭取をへて、昭和18(1943)年北國銀行初代頭取となった。
- 産-問5. ② P 54 1921年5月13日に小松鉄工所が竹内鋳業から分離独立、現在の登記社名である小松製作所に改称し発足した。
- 産-問6. ④ P 55 一ッ橋大学卒業後、ヨーロッパやアメリカの一流ホテルで修業し、帝国ホテルの経営に関わる。その一方で、わが国のホテル業界の地位の向上やホテルマンの育成に多大な貢献をした人物。
- 産-問7. ⑤ P 56 終戦以来金融政策の中心的手段と考えられてきた高率適用制度を見直し、公定歩合操作を中心とした金利政策運営へと切り替えた。
- 産-問8. ⑤ P 57 1位 キヤタピラ(アメリカ)。2位 コマツ
- 産-問9. ② P 59 業界初の受賞。デミング賞実施賞中小企業賞受賞。デミング賞とは、TQM(総合品質管理)の進歩に功績のあった民間の団体および個人に授与されている賞。現在、デミング賞大賞、デミング賞本賞、デミング賞普及・推進功労賞(海外)、デミング賞がある。当時、デミング賞はデミング賞実施賞といい、実施賞、中小企業賞、事業部賞、事業所表彰があった。
- 産-問10. ② P 60 県道串・加賀線をはじめ、市道松崎・額見線に接している。
- 産-問11. ⑤ P 61 加賀森林組合の管内は、面積の約75%(113,975ha(国有林含む))が森林に覆われている。
- 産-問12. ③ P 62 地域住民が築き上げた優れた自然環境と、農業のバランスが取れ、安心できる農産物の生産に適したすることができる地域に認定される。

- 産-問13. ③ P 63 JA小松市は北陸三県一のトマトの産地で、「桃太郎はるか」を中心に栽培されている。
- 産-問14. ① P 64 黒皮種のみもと芋で、手取川扇状地の肥沃な土壌と霊峰白山から湧き出でる豊かな用水を利用して、古く戦前より栽培され、栽培技術の改善によって、その品質は全国に誇り得るものとなっている。板津支店管内の高堂町・野田町・一針町の農家で栽培している。
- 産-問15. ⑤ P 65 雪国育ちのイ草で織られ、丈夫で美しい畳表は高級品として県内外から高い評価を得ている。
- 産-問16. ① P 66 利用範囲が地元の漁業を主としている漁港なので、第一種漁港。
- 産-問17. ③ P 67 南加賀公設地方卸売市場は、南加賀広域圏事務組合(小松市、加賀市、能美市、川北町で構成)により、圏域住民24万人の方に、毎日の生活に必要な野菜、果実、鮮魚などの食料品を安定的に供給するために、石川県知事の許可を受けて開設されている公設市場。
- 産-問18. ⑤ P 68 国内線定期便(6路線・東京・福岡・札幌・那覇・成田・仙台)、国際線定期便(4路線・ソウル・台北・上海・香港)。ただし、運休中を含む。(R3年4月1日現在)
- 産-問19. ④ P 70 小松ー上海便は週6便運航している。(R3年4月1日現在)
- 産-問20. ① P 71 カーゴルックス航空(小松ールクセンブルグ)は、国際貨物定期便(週4便)を運航している。(R3年4月1日現在)
- 産-問21. ③ P 72 9月20日の『9(く)2(に)0(まる)』から命名された。
- 産-問22. ① P 73 空港コードKMQをもとにネーミング。義経と弁慶の衣装を着て、安宅の関とも関連付けている。
- 産-問23. ② P 74 金沢-敦賀間は平成24(2012)年着工され、令和4(2022)年度末に開業する予定であったが、1年半程度延期され、現在、令和5(2023)年度末に開業を予定されている。
- 産-問24. ③ P 76 駅前大通り商店街の愛称。
- 産-問25. ① P 77 地産地消と6次産業化の推進を目的に、平成26(2014)年7月に認定制度を開始。環境王国こまつの「安全・安心・おいしい」自慢の農産物を活用して、その特色を活かして開発された商品を「こまつもんブランド」として認定することで、地産農産物の利用拡大と環境王国こまつのイメージアップを図っている。127商品が認定されている。令和3(2021)年3月末日現在

観 光 編

- 観-問 1. ② P 79 北陸で遍く信仰された泰澄大師が白山権現のお告げによって発見されたと伝えられる。
- 観-問 2. ③ P 79 小松市の栗津温泉、加賀市の片山津温泉、山代温泉、山中温泉の4つの温泉を表す名称として使われる。加賀四湯とも呼ばれている。
- 観-問 3. ④ P 83 寺伝によれば、養老元(717)年、泰澄法師が越前国江沼郡に千手観音を安置したのが始まりとされる。
- 観-問 4. ⑤ P 84 小松天満宮は、加賀前田家三代利常により明暦3(1657)年に、梅林院(官司宅)とともに造営された。
- 観-問 5. ① P 84 昔から全国有力神社の中の一つに数えられ崇敬されていた神社。加賀国の人々の守護神として大切にされてきた。本殿と神輿は、市の文化財に指定されている。
- 観-問 6. ③ P 85 小松市安宅町の二堂山(海拔15m)の頂上に鎮座する神社。人生に於ける道先案内の神、全国唯一の難関突破の霊神として信仰を集めている。
- 観-問 7. ⑤ P 88 建聖寺は曹洞宗永平寺派の寺。元禄2(1689)年7月24日、松尾芭蕉一行が句会を催したといわれている。
- 観-問 8. ⑤ P 90 昭和26(1951)年に作られた洞窟寺院。名称にあるハニベは埴輪(はこわ)を作る人の「土部師(はにべし)」に由来するという。多様な仏の世界や地獄が洞窟内に再現されている。
- 観-問 9. ⑤ P 91 平成7(1995)年11月27日に開設された航空機および航空を主体にした博物館で、日本海側では唯一の航空資料館。
- 観-問10. ③ P 92 「未来を創る ひとづくり、ものづくり」をテーマとしたサイエンスヒルズこまつ。「ひととものづくり科学館」と「こまつビジネス創造プラザ」の2施設で構成されている。
- 観-問11. ② P 93 加賀前田家三代利常の隠居城であった小松城の三の丸跡に作られた公園。博物館をはじめ、美術館、図書館、茶室などの文化施設を有し、中央には二つの池と滝、それらを結ぶせせらぎを中心に池の背後に築山を配した池泉回遊式庭園となっている。

- 観-問12. ④ P 94 小松市の里山地域に位置する日用町は、多様な苔むす庭、銘木「日用杉」林、初夏にホタル舞う小川と田園、古民家という日本の美しい自然と文化を残し、全国農村景観百選にも選ばれている。
- 観-問13. ① P 97 小松市出身の洋画家宮本三郎(1905～1974年)の作品を展示する美術館。白い石張りの倉庫と、現代的なガラス張りの建物を組み合わせた外観が特徴。
- 観-問14. ③ P 98 松雲堂は松屋菊三郎の子・松本佐平(佐瓶)から松本佐吉・二代松本佐吉・松本佐喜男と続く色絵九谷の本流を貫いてきた小松の上絵窯元。現在の建物は、松雲堂が破産したため、その建物を三代徳田八十吉が購入し、市に寄付したもの。建物は昭和8年頃建てられたもので、小松の昭和初期・町家形式をとどめ、また、上絵付けを行った当時の錦窯を見ることができ。平成23年11月に改修工事を終え、現代町家として生まれ変わった。現在は、文化・交流の場として活用されている。
- 観-問15. ③ P 99 長い歴史(約 300年)を誇った尾小屋鉾山の関係資料を集めて、阿手坂社宅跡に昭和59(1984)年に資料館が開館。資料と共に岩石や鉾物も展示されており、地質や鉾脈の解説もある。
- 観-問16. ③ P 100 県内で初めての絵本専門の図書館(2006年開館)。0歳からの絵本との出会いを推進するために作られた施設で、赤ちゃんが肌のぬくもりを感じながら豊かな心と言葉を育み、家族とともに成長していく、そんな願いが込められている。
- 観-問17. ④ P 103 菟橋神社(お諏訪さん)と本折日吉神社(山王さん)の春季大例祭。毎年5月の2週目の金曜日から3週目の月曜日の3日間開催される。
- 観-問18. ① P 106 宿屋の奉公人同士の恋物語「おっしょべ物語」が400年前から受け継がれている。その話にちなんで「おっしょべ節」という民謡も作られ、毎年「おっしょべ祭り」が開催されている。
- 観-問19. ③ P 106 昔、この秋祭りに西瓜を売る店が何軒も並んだのが語源となっている。本来は「水火(すいか)まつり」、つまり「水」と「火」の祭りである。どちらも生命にとって、根幹に関わるたいへん重要な要素。反面、洪水や火災など一度暴れ出すと手に負えない驚異ともなる。「水」と「火」の大いなる恵みに感謝をする、そして大自然に畏敬の心を表すことが、このお祭り意義である。
- 観-問20. ② P 107 毎年9月7～9日の3日間に行われる。7・8日は大漁と無事を祈り、大神輿、宮獅子が練り歩き、8・9日には、七福神を乗せた北前船の面影を残す巨大な曳船が練り歩く。宵の頃から、20歳前後の未婚女性が総出で赤い着物に日本髪を結って踊る輪踊りも催される。

- 観-問21. ④ P107 小松が今の姿に発展をする契機になったのは、前田利常が小松城に居して産業・文化を奨励してから。昭和51(1976)年9月に、利常公の遺徳を偲ぶとともに、昔から盛んな大太鼓をまつりの象徴する響きに乗せてどんどん集まろう、どんどん産業を、文化を、そして市勢を発展させようとの願いをあらわしたもの。市民総ぐるみの参加により、失われがちな市民間の絆を深める里の伝統文化に親しみながらそれと同時に市民の手で新しい文化を創造していきたいという願いも含まれている。
- 観-問22. ⑤ P107 大獅子の神楽舞が終わると、境内すべての明かりが消され、男面を付けた舞人が提灯を持った男衆に先導されて登場。男面は力足を踏み鬼門に向かって矢を放った後、一端退場し、女面に妊婦の姿をした舞人とともに再び現れ、鬼門に矢を放ちます。舞は終始無言で進められる珍しいもので、悪魔退散と安産、豊作祈願が込められている。
- 観-問23. ④ P108 普段開放されていない「航空自衛隊小松基地」が一般開放され、間近に自衛隊航空機の展示や飛行を楽しむことができる。
- 観-問24. ③ P108 小松の活性化とまちづくりを目的に、青年のエネルギーを結集して事業を始める。昭和57(1982)年10月17日に第1回大会が行われた。日本では2番目に歴史があり、ラン・バイク・ランを連続してこなす「デュアスロン」の大会では日本最大の大会。
- 観-問25. ② P108 こまつドームをメイン会場として、白熱・興奮のレースが開催される。

文 化 編

- 文-問1. ③ P110 大聖寺藩領の九谷村(加賀市)で、良質の陶石が発見されたのを機に、藩士の後藤才次郎を有田へ技能の習得に赴かせ、帰藩後の明暦初期(1655年頃)、藩の殖産政策として始められる。
- 文-問2. ③ P110 九谷焼の代表的な絵付に、粟生屋風はない。
- 文-問3. ② P111 九谷焼の代表的な技法に、金襴はない。
- 文-問4. ① P114 後藤才次郎は若杉窯に関係ない。古九谷に関係している。
- 文-問5. ⑤ P115 昭和47(1972)年の発掘調査により、連房式登窯が検出された。
- 文-問6. ② P117 素焼きは700～900℃、本焼は1200～1300℃。
- 文-問7. ② P118 絵付を施すのが釉薬をかける前か後によって、「下絵付け」と「上絵付け」にわけられる。
- 文-問8. ② P119 人間国宝とは、文化財保護法第71条第2項に基づき文部科学大臣が指定した重要無形文化財の保持者として各個認定された人物を指す通称。文化財保護法には「人間国宝」という文言はないが、重要無形文化財保持者を指して人間国宝と呼ぶ通称が広く用いられている。
- 文-問9. ③ P120 初代 徳田 八十吉(1873年-1956年)。吉田屋窯風の作風を得意とした。号は鬼佛。指導者として浅蔵五十吉、二代、三代徳田八十吉等を育てる。
- 文-問10. ② P126 二代 浅蔵 五十吉(1913年-1998年)は能美郡寺井町(現:能美市)生まれの陶芸家。名は与作。1984年に日本芸術院会員、1992年に文化功労者、1996年に九谷焼作家として初めてとなる文化勲章を受章した。
- 文-問11. ③ P130 三代 徳田 八十吉(1933年-2009年)。名は正彦。1988年に三代を襲名。1991年は第11回日本陶芸展で、大賞・秩父宮賜杯を受賞。1997年6月6日、重要無形文化財「彩釉磁器」保持者(人間国宝)に認定される。釉薬で色彩を調整した鮮やかな群青色に強い個性がある。海外にも多くの作品を発表して高い評価を得た。また、古九谷の学術研究にも尽力した。

- 文-問12. ⑤ P133 吉田 美統(1932年-)。名は稔。釉裏金彩の第一人者として2001年7月12日に重要無形文化財「釉裏金彩」保持者(人間国宝)に認定され、同年紫綬褒章を受章した。
- 文-問13. ⑤ P135 山上善右衛門嘉廣(?-1680年)。加賀前田家御大工。那谷寺、小松天満宮などを建築した。
- 文-問14. ④ P136 魚住 為楽(1886年-1964年)。名は安太郎。合金、鑄造、熱処理、金槌仕上げから着色に至る、銅鑼作りの各工程を開拓した。昭和30(1955)年に重要無形文化財「銅鑼」保持者(人間国宝)に認定された。
- 文-問15. ② P137 宮本三郎(1905~1974年)。洋画家。戦争記録画にすぐれ、第二次大戦後は二紀会を結成。晩年は舞妓・裸婦などを描いた。
- 文-問16. ③ P140 森山啓(1904~1991年)。本名は森松慶治。昭和16年、小松市に疎開して以来、終生石川の地に生きた。昭和19年~21年、小松農・商学校(現 石川県立小松商業高等学校)の教員として勤務。小松商業高校、丸内中学校などの校歌の作詞者。文筆活動を続ける一方、石川の文芸復興に努めるなど、地方文化へも多大な貢献を残した。
- 文-問17. ① P145 北村 喜八(1898~1960年)。劇作家、翻訳家、演出家。戦後、新劇の再建につくし、翻訳・演出の面で大きな功績を残した。
- 文-問18. ⑤ P147 中谷 宇吉郎(1900-1962年)。日本の代表的実験物理学者、随筆家。世界で初となる人工雪の製作に成功するなど雪や氷の研究を続け、数々の功績を残した。また「日本のこころ」「イグアノドンの唄」など数多くの随筆も残した。
- 文-問19. ③ P150 兄の勝木新次は労働衛生学の権威者で、労働行政推進に貢献をした。昭和34(1959)年に勲二等旭日重光章を受章。弟の勝木保次は聴覚生理学の世界的権威者で、聴覚機構の研究に貢献した。昭和48(1973)年に文化勲章を受章。小松市の勝木賞(科学に対する興味・関心が高く、且つ研究意欲に富み、人文・自然科学ともに学業成績優秀な中学3年生に贈られる賞)は、勝木保次博士からの寄附金を活用して、昭和57年に「勝木賞」が創設された。
- 文-問20. ④ P151 川良雄(1903~1979年)。教師(小・中・高校)の傍ら、「石川県史」「小松市史」をはじめ、「今江町史」「根上町史」など、地方史編纂に多大な功績を残した。

- 文-問21. ① P152 宝暦5(1755)年の「御国御目付衆江御答帳」という書物に、加賀藩の名物を聞かれましたら、金沢の象眼鏡と染手綱、小松の長機二重堅絹と干饅頭などを答えることと書かれている。また、元禄2年(1689)、奥の細道の旅の途中、小松の俳人・塵生が乾うどん二箱を届けたのに対し、芭蕉が「殊に珍敷乾うどん」をありがとうと書いた返書が残されている。
- 文-問22. ③ P154 「いじっらしい」の意味は、「うっとうしい」。
- 文-問23. ① P154 「えて」の意味は、「痛い」。
- 文-問24. ④ P154 「じよんなもん」の意味は、「変な人」。
- 文-問25. ② P158 平成28(2016)年4月25日、「『珠玉と歩む物語』小松～時の流れの中で磨き上げた石の文化～」が「日本遺産(Japan Heritage)」に認定された。
- 文-問26. ② P158 小松市花坂町。良質の陶石を見つけた貞吉は花坂にほど近い地で若杉窯を築き、ほどなく各地に諸窯が興りさまざまな作風や技術が生み出されました。花坂陶石がなければ再興九谷以降の発展はなかったのかもしれない。
- 文-問27. ③ P165 「お旅まつりの曳山行事」は県指定文化財の無形民俗文化財(H11.7.23指定)。「曳山」は市指定文化財の建造物(S40.11.3指定)。
- 文-問28. ③ P165 17件。165ページ参照。
- 文-問29. ① P165 9件。165ページ参照。
- 文-問30. ⑤ P166 80件。166-168ページ参照。

福 祉 編

- 福-問1. ⑤ P171 在宅サービスには訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーションなどがある。
- 福-問2. ③ P171 かかりつけの医師に介護認定を受けることについて相談し、主治医意見書を作成してもらい、市の長寿介護課の窓口に申請をする。
- 福-問3. ⑤ P171 要介護1～5、要支援1・2の7区分。非該当を含むと8区分となる。
- 福-問4. ① P174 普通食、おかゆ、刻んだもの、ペーストの4種類。
- 福-問5. ③ P174 介護福祉士の仕事は、食事介助、入浴介助、排泄介助、介護指導。
- 福-問6. ④ P177 介護予防啓発普及事業は市が行っている介護予防事業。
- 福-問7. ⑤ P178 肢体、視覚、聴覚、音声、内部(心臓、肝臓、腎臓、呼吸器など)に継続する障害がある者を対象に交付。程度に応じて1～6級に区分。
- 福-問8. ① P178 知的障がい児(者)に対して一貫した指導、相談を行い、援助措置を受けやすくする目的として交付。程度に応じA(重度)、B(中・軽度)に区分。
- 福-問9. ② P178 精神に障がいがある者の社会復帰・参加、自立を目的として交付。程度に応じて1～3級に区分。
- 福-問10. ③ P182 支給期間は、中学校修了前まで。6月、10月、2月に支給される。
- 福-問11. ⑤ P184 こども園は内閣府。保育園は厚生労働省。幼稚園は文部科学省。
- 福-問12. ③ P184 令和3年4月現在、公立保育所は3か所。
- 福-問13. ④ P184 令和3年4月現在、公立幼稚園はない。
- 福-問14. ② P185 19時(一部20時)まで預けることができる。
- 福-問15. ⑤ P185 入園児以外の親子も遊びに来ることができる。

- 福-問16. ③ P186 入院用ベッド数が20床以上ある医療施設を病院、20床未満またはベッドを持たない医療施設を診療所という。
- 福-問17. ② P186 病院9、診療所58、計67。
- 福-問18. ④ P186 平成25(2013)年度から令和4(2022)年度までの10年間。ただし、平成29(2017)年度に中間評価し、見直しを実施した。
- 福-問19. ② P186 (1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
(2) 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上
(3) 健康を支え、守るための社会環境の整備
- 福-問20. ① P187 高齢者の健康は「社会生活に必要な機能の維持・向上」の分野。

環 境 編

- 環-問1. ② P190 ビオパークは「木場潟水と緑のふれあいパーク」内にある。
- 環-問2. ① P190 ビオパークでは、COD、SS、T-N、T-Pについて毎月水質調査を行っている。
- 環-問3. ⑤ P192 花や野菜の栽培、花や野菜の収穫、堆肥の利用、憩いの場。
- 環-問4. ③ P193 使用済みの天ぷら油は、凝固剤で固めてゴミとして出すか、リサイクルとして廃油回収に出す。
- 環-問5. ④ P195 計画期間は令和3(2021)年度～令和12(2030)年度の10年間
- 環-問6. ② P195 K o m a t s u E c o A c t i o n 2 0 3 0
- 環-問7. ⑤ P196 15のプロジェクトチームが活動している。196ページ参照。
- 環-問8. ③ P197 高等学校では行っていない。
- 環-問9. ③ P199 中心市街地では、汚水と雨水を同じ管で流す「合流式」、中心市街地以外では、汚水と雨水を別々の管で流す「分流式」が整備されている。
- 環-問10. ① P200 梯川をはさんで、翠ヶ丘浄化センターと中央浄化センターに大きく2分割されて処理される。
- 環-問11. ⑤ P201 合成洗剤等に含まれている有機リンは、処理場でも取り除くことが困難で、川や海を汚します。洗剤は無リン性のものを使うようにしましょう。
- 環-問12. ② P203 廃棄物の焼却処理とその熱エネルギーを利用して発電を行う「クリーンセンター」、破碎ごみや空缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装などを資源として再生する「リサイクルセンター」、廃棄物を埋め立て処分する「最終処分場」の3つの施設で構成されている。
- 環-問13. ④ P204 廃棄物の焼却処理とその熱エネルギーを利用して発電を行っているのは、「クリーンセンター」

- 環-問14. ③ P205 4区域に分け、曜日ごとに収集される。
- 環-問15. ④ P205 発砲スチロールは一般ゴミ(もやすごみ)。その他は容器包装プラスチックに区分される。
- 環-問16. ③ P205 電気炊飯器は粉碎ごみ。その他は金物に区分される。
- 環-問17. ② P206 タイヤは持ち込みできない。たんす、車いす、カラオケ演奏機器、カーペットなどは金物。
- 環-問18. ③ P207 令和3年4月現在、4号店までである。
- 環-問19. ① P208 油紙、耐水紙、感熱紙などは再生できない。
- 環-問20. ③ P212 R e d u c e (リデュース)。ものを大切に使おう。ごみを減らそう。

スポーツ編

- ス-問1. ① P213 5つの柱がある。
- ス-問2. ② P214 「sports for all」の理念のもと、生涯スポーツの普及・振興に努めている。
- ス-問3. ③ P214 校下体育協会は26団体。市立小学校25校+自衛隊。
- ス-問4. ④ P214 種目別協会は43団体。
- ス-問5. ③ P215 9月～11月中にこまつドーム会場および市内の体育施設で開催するスポーツの祭典は、小松市スポーツフェスティバル。
- ス-問6. ⑤ P216 スポーツ賞、和田スポーツ賞、北野ポープ賞、スポーツ記録賞、スポーツ奨励賞、スポーツ功労賞、スポーツ特別賞がある。
- ス-問7. ③ P218 坂田 昌弘、中川 真依、松下 桃太郎の3人。
- ス-問8. ① P218 鈴木 雄介は能美郡辰口町出身。
- ス-問9. ⑤ P219 第30回ロンドン大会(2012年)と第32回東京大会(2020年)に出場。
- ス-問10. ② P220 姉の岸 綾乃は第30回ロンドン大会、弟の岸大貴は第32回東京大会(2020年)にトランポリンで出場。競技名は体操、種目名はトランポリン。
- ス-問11. ② P221 第2種公認陸上競技場では、加盟団体の選手権、地方における国際的競技会が可能。
- ス-問12. ④ P221 末広体育館を義経アリーナ、末広陸上競技場を勸進帳スタジアム、末広野球場を弁慶スタジアム。
- ス-問13. ⑤ P221 末広体育館を義経アリーナ、末広陸上競技場を勸進帳スタジアム、末広野球場を弁慶スタジアム。
- ス-問14. ① P221 末広体育館を義経アリーナ、末広陸上競技場を勸進帳スタジアム、末広野球場を弁慶スタジアム。
- ス-問15. ④ P222 末広テニスコートの別名。